

令和2年度第3回出島処分場事業連絡調整協議会の概要

1 日時及び会場

- 令和2年10月12日(月) 14:00～15:30
- 広島港湾振興事務所大会議室(広島市南区宇品海岸二丁目23-53)

2 出席者

- 委員16名出席(1名欠席)

3 議事要旨

(1) 協議会の進行

- 令和2年度第2回協議会の議事概要の確認
- 廃棄物の受入実績等について
- 処分場の維持管理状況等について
- 周辺環境の調査結果について
- 地域振興策について

(2) 発言要旨

【令和2年度第2回協議会の議事概要の確認】

(意見なし)

【廃棄物の受入実績等について】

(意見なし)

【処分場の維持管理状況等について】

(意見なし)

【周辺環境の調査結果について】

(意見なし)

【地域振興策について】

- ・ 地域振興ソフト事業について、出島地区はコロナに絡んで来年度へ繰越しとあるが、次年度も同じ状況が続いた場合はどういった対応をされるのか。
→ あまりにも長期に同じ状況が続く場合、抜本的な検討をさせて頂く。

【議事項目終了後の意見】

- ・ 埋立期間が10年20年30年ずれたとしても、国がそれを了承してくれるのか、計画通りに進まない場合、お金を返して下さいということがありうるのか。
→ 出島廃棄物処分場は産業廃棄物等を処分するという目的で認められた事業であり、何年までに埋めるという制約は基本的にない。10年で埋めるというのは、地元との約束に基づいており、それはまた別の話であるので、整備については廃棄物処分場として使っていただければ問題ない。

- ・ そうであれば、例え遅れが 10 年 20 年 30 年あったとしても、県内の廃棄物だけで埋立事業をやって頂きたい。元宇品地区としては、県の税金を投じて作った処分場に、他県の廃棄物を持ってくる必要はないという見解なので、出島処分場で他県の廃棄物を処理することがないように願います。
- ・ 元宇品の海岸に打ち上げられた黒い土砂の件で、出島処分場に隣接する土砂埋立事業に係るものだと思うが、住民から三原の船を出島処分場に入れているのではないかという話があった。住民の方も処分場にそれだけ関心を持たれているので、このことを認識して今後も処分場の運営を行ってほしい。
- ・ 出島処分場の周辺一帯の発展計画について、県は将来的にはどういうふうにするのか示してほしい。
- ・ 元宇品遊歩道の施錠開閉のために、地域振興策の残金を使って、地元で管理費を負担していることについて、元宇品社協として困っている。県有財産に対して、なぜ地元でお金を負担しなければならないのかと言われる方もいる。地元で鍵の管理費を負担しなければならなくなった経緯として、今まで特定の事業者が県有地を使っていた部分を県が放置していたという問題があるのではないか。今後の関係者との協議内容も変わってくるので、この問題について県の方でよく調べてほしい。
→ 再度、調べさせて頂く。
- ・ 10 年で埋まらないことは目に見えているが、どこか埋立期間の延長前提で動かれているような気がしている。あくまで 10 年が約束。もっと努力して搬入量を増やす方法がないか探してほしい。そして、今こういう努力をしているというのを、もっとこの場で発表してほしい。次期処分場ができないので、出島処分場を延ばしたいという気持ちも分かるが、そのような理由での延長はやめてほしい。
→ どういった確保努力をしているのかというのをなかなかお示しできていないのは、ご指摘の通りである。できる限りそういったところを皆さん方に見えるような形で努力していく。

※ 担当事務局

広島県環境県民局産業廃棄物対策課
TEL : 082-513-2964 (ダイヤルイン)